

「BELIEVE」

BELIEVE

2016
秋号
VOL.58

「BELIEVE」

特集 ^(ダ ヴィンチ) 手術支援ロボット『da Vinci』の最新鋭機Xiが
平成28年9月より稼働しました!



山野 将志「オーストラリアの花」・制作年/2007・素材/アクリル、顔料マーカー、紙、パネル
(エイブルアート・カンパニー所属 URL:<http://www.ableartcom.jp>)

シリーズ **情熱の白衣 医師の素顔** ⑤ 精神神経科部長 **和田 央**

- 食だより「秋の味覚を使った簡単スイーツ」／お薬ミニ知識「お薬の上手な飲ませ方」
- がんサポートチームからのお知らせ／「かかりつけ医」をもちましよう／大阪赤十字病院の国際活動

大阪赤十字病院の理念

わたしたちは
人道・博愛の赤十字精神に基づき
すべての人の尊厳をまもり
心のかよう高度の医療をめざします

患者さんの権利

1. 一人の人間として、人権をまもられる権利があります
2. 良質かつ適切な医療を、公平に受ける権利があります
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利があります
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利があります
5. プライバシーがまもられ、個人情報保護される権利があります
6. 自己の診療録等の医療情報の開示を求める権利があります
7. 他施設の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります



(ダ ヴィンチ) 『da Vinci』の最新鋭機Xiが稼働しました!



副院長 兼 泌尿器科部長
西村 一男

昭和51年京都大学医学部卒業。同年、同大学泌尿器科研修医を経て、昭和52年北野病院に勤務。昭和58年副部長に就任。昭和59年京都大学助手。平成元年より大阪赤十字病院泌尿器科に勤務。平成2年同科副部長、平成7年より当院泌尿器科部長に就任。平成23年当院副院長に就任。日本泌尿器科学会認定指導医・専門医、日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定制度認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医(泌尿器科領域)、京都大学医学部臨床教授。

図1
サージョンコンソール ← ビジョンカート → パイシエントカート



操縦コックピット



3D映像の描出
制御コンピューター



ロボットアーム

今回導入された『da Vinci Xi』は、執刀医が操作するサージョンコンソール(飛行機で言うコックピット)、それに連動して手術操作を行うロボットアーム(ロボットの腕)が装着されているパイシエントカート(患者さんに直接触れて手術する部分)、モニターや手術用機器を統合するビジョンカートの3つの部分から構成されています。

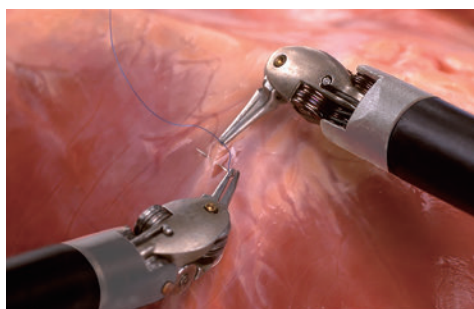
サージョンコンソールは患者さんから離れたところ、4本の腕を持つパイシエントカートは患者さんの傍に配置されます。執刀医が指令部分であるコンソールに座り、操作レバーを操作すると、その動きはコンピューターに伝わり、さらにコンピューターは実際に手術を行うロボットの腕を動かして手術が進行していきます。

大阪赤十字病院に、手術支援ロボット『da Vinci(ダヴィンチ)Xi』が導入されました。従来の腹腔鏡手術にこのダヴィンチを用いることで、これまでの腹腔鏡手術ではできなかった、より繊細で複雑な鉗子(手術用のハサミなどの道具)の動きが可能になります。従来の開腹や腹腔鏡下での前立腺全摘術に比べ、手術後の回復が早く、手術中の出血量が少ないなどの利点があります。なお、このシステムは平成24年4月より前立腺がん、平成28年4月より腎がんに対する腹腔鏡下腎部分切除に保険診療が認められています。

●『da Vinci Xi』の構成(図1)

●『da Vinci Xi』に搭載されたテクノロジー

3Dカメラによる立体視
執刀医はコンソールのメガネの部分を見込むことで、3D映像を体感します。最大10倍の高倍率であり、細かい血管なども明瞭に認識できます。



■ロボットアーム技術

鉗子の先端の関節自由度が大きく、人間の関節以上に自在に動き、従来の腹腔鏡手術では不可能であった微細な動きが体の中で実現できます。また、執刀医の手の震え(カメラで言う手ぶれ)が取り除かれてロボットアームに伝達されます(図2)。これにより、繊細かつ正確な手術操作が可能となります。

▶ダヴィンチを操作する
大久保副部長

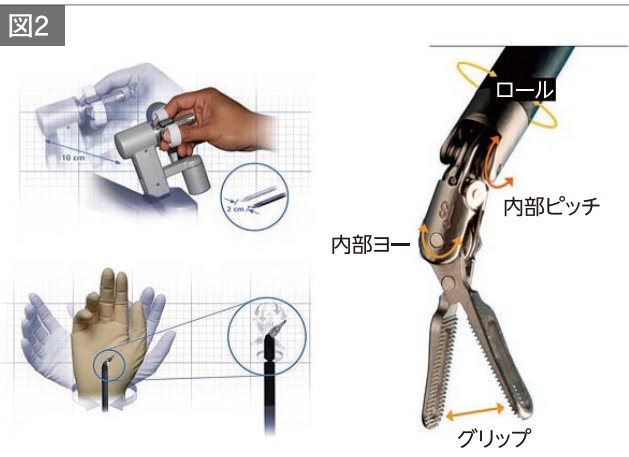


図2



手術支援ロボット 平成28年9月より



●最新鋭器『da Vinci Xi』の長所 従来の機器との比較

『Xi』は、da Vinciシリーズの4世代目の機種で、最新のバージョンアップが施されています。

はじめに、前世代の機種『Si』よりもロボットアーム部分が細くて長くなりました。これにより腹腔鏡ポート（手術用の道具を挿入する穴）の位置の制限が減り、後腹膜アプローチ（腹膜を切開しない方法。従来は、腹膜を切開する経腹膜アプローチでした）も可能となります。

経腹膜アプローチでの手術中の体位は、頭を大きく下げ足を高く上げる必要がありますでしたが、後腹膜アプローチではこれを軽減



ある患者さんへの適応も広がります。次に、音声ガイダンス機能とレーザー位置決め機能が付加され、安全面も充実しました。さらに、アームの首振り機能により、機械（ベイシメントカート）の配置の制限が少なくなり、これらの機能の充実で、より安全で迅速なセットアップが実現でき、手術時間の短縮が見込まれます。

することができるので、より患者さんの身体に対する負担が少なく、緑内障や呼吸機能に問題が

今回、大阪赤十字病院で新たに『da Vinci Xi』による手術を開始するにあたっては、従来機の『da Vinci Si』を用いて、京都大学で多くの手術を経験してきた元京都大学医学部講師の大久保和俊副部長を中心に、泌尿器科医師全員、看護師、臨床工学技士を含めたダヴィンチチームを結成し、豚を使った手術トレーニングや大学での手術見学、『da Vinci Xi』を使ったシミュレーショントレーニングを何度も

重ね、万全の体制で準備をしてきました。

●『da Vinci Xi』を用いた手術の実際

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術(RALP)では、これまで当院で行ってきた従来の腹腔鏡下前立腺全摘術と比べて手術時間の短縮、断端陽性率（わずかながんを取り残す率）や術後早期尿禁制（尿失禁しないこと）の改善が期待されます。また、勃起神経温存が行いやすくなり、より積極的に性機能の保持に取り組むことができます。

Q&A



Q1 どのような症例が前立腺全摘の対象になりますか？

A 転移のない前立腺がん（限局性前立腺がん）で原則的には75歳以下、重篤な合併症のない方が最も適しています。PSAの数値では10ないし20以下が目安です。前立腺がんの状態や、ほかの合併疾患の状態によっては、ロボット支援手術以外の治療法がふさわしい場合もあります。詳しくは、担当医とよくご相談ください。



Q2 前立腺がん以外の手術も可能ですか？

A 平成28年4月から腎がんに対する腎部分切除もロボット支援手術の保険適応となりました。Xiでは側方からのドッキングが可能なので、従来のSi機種よりも腎部分切除が容易になります。当面は前立腺全摘術からの開始となりますが、将来的には腎部分切除も行う予定です。

▼当院の『da Vinci Xi』

Q3 いつから開始予定ですか？

A 平成28年9月中旬より開始しています。



和田 央

精神神経科部長



話しかけるより、話してくれるときを「待つ」。患者さんからの言葉が、治療のはじまりです。

主な治療の手がかりは「言葉」。「話そう」とするそのときをじっくり待ちます。

皆さんは、精神科医師の診療風景には、どんなイメージを持たれるだろうか。時間をかけて患者さんの話を聞くことがすべてかという、実際は「一人の患者さんの診察時間は10分くらい。当院では薬での治療が主体。」

だそう。和田医師が部長としてまとめる精神神経科では、統合失調症、気分障害、身体合併症、認知症や引きこもりなどが診療の中心となっている。「統合失調症などは、以前は人生の相当な部分を諦めないといけない疾患という認識が強かったのですが、ここ10年ほどで薬が改善され、疾患にかかっても、その後社会で活躍されたり、結婚、出産される方も大勢いらつしゃいます。薬で本来の人柄を取り

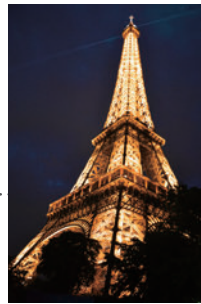
HISASHI WADA 7月6日、大阪府生まれ。京都大学医学部卒業後、当院精神神経科、北野病院神経精神科を経て、フランスのサン・タンヌ病院へ留学。帰国後、北野病院、京都府立洛南病院、平成25年に当院に赴任。平成26年より精神神経科部長に就任した。

戻したり、落ち着いたりしてこられます。」
和田医師が精神科を志したのは、それほど強い思いがあったわけではない。学生時代、漠然と精神医学に興味を抱いていたが、身体医学にそれほど惹かれなかったことの方がむしろ大きな理由であったという。

「医師になって11年目にフランスへ留学したのですが、自ら働きかけないと理不尽な目に遭うことが多いフランス社会で、日本人というマイノリティ（少数派）の立場を経験しました。精神疾患者と通じるマイノリティを体験できたことは、仕事をする上で良かったですね。」
精神医療は他の科と異なり、数字や画像といった「客観的な情報」が乏しいところでの診療となる。「治療の手がかりとして一番重要なのは、『患者さんと交わす言葉』。患者さんの症状や話しぶりや態度、治療に必要なことは、すべて言葉で表現します。」そして診療では、患者さんの話を『聞く』というよりは、患者さんが『話したい』と思うときを『待

つ』この方が多いという。「患者さんが話さないときは、無理に聞き出そうとは思いませんね。『話そう』と思われるタイミングを逃さないように心がけています。」

「生きにくさを感じる視点」を持って、患者さんと向き合っていきたい。
和田医師は、「休みも仕事」状態。専門である司法精神医学の仕事で、事件の捜査資料を読み、精神鑑定書を作成している。精神鑑定に携わるきっかけは、高校の頃にあった。「先日、十数年ぶりに会った同級生から『当時、精神鑑定をやりたいて言っていたよな』と言われたんです。自分でも忘れていましたね。」
町の中心にある交通アクセスの良い場所で、総合病院という強みを持つ当科を、多くの人に利用してもらいたいという和田医師。そして後輩医師の育成においては、患者さんの感じる「生きにくさ」に敏感になって欲しいとの思いがある。「患者さんは、いろんな場面で、社会的な不利益を被ったり、生きにくさに直面したりしています。そういう部分に目配りのできる医師になってもらいたいですね。」



留学時(平成13年)に撮影したエッフェル塔。

看護師レポート・58

元気に笑って看護のやりがいをみんなに伝えていきたい。

教育担当係長 有馬 御公



もともと正義感が強くて、警察官になりたいと思っていました。しかし、合格への門は狭く、高校の先生から「看護師はどう？」と勧められたのがきっかけで、看護師を選びました。実際、看護師の仕事

も「患者さんの安全安楽や尊厳を守る」という正義感が必要なので、自分に合っていると自覚しています。最初の7年間は看護師を、その後は看護専門学校の教師を9年間務めました。自分の看護で患者さんがよくなった経験や、看護の大事さを伝えた学生が成長する姿に触れ、やりがいを感じてきました。今年4月から看護部の教育担当係長になり、新人の育成プログラムの企画運営に携わっています。これまでとは違い、デスク

ワークや体制作りを通じて、間接的に現場にかかわっていくことに、戸惑いがありましたね。各病棟を回って、新人の様子を見たり、看護係長や師長に仕事の評価を聞いたり、企画のための情報収集をしたりするのですが、当初は「頼ってもらいたい」、そんな思いでいっぱいでした。今は管理的な視点にシフトして、教育プログラムをどう構築していくかを学ぶ時期だと思っています。

男の子二人の子どもがいます。普段は仕事で遊んであげられないので、休日は一緒にジョギングやスイミングをして遊びます。「母ちゃんは看護師を育てる看護師さん」だと、自慢に思ってくれているようです。



テーマパークに出かけた休日一枚。子どもと一緒に思いきり遊んでいます。

看護や教育の現場では「ユーモア」を大切にやってきたのですが、いろんな部署を見ていると、いろんな指導の工夫があつて、日々勉強になります。視野を広げて、見て、学びながら、みんなが元気に楽しく笑ってやりがいのある看護を、できるようになれたらいいですね。

MIKO ARIMA

2月24日大阪府生まれ。大阪赤十字看護専門学校卒業後、当院に就職。病棟看護を経て、大阪赤十字看護専門学校の専任教師を9年、途中看護係長を2年務める。本年より看護部教育担当係長に。新人看護師の育成担当として、教育プログラムの企画・管理業務に携わっている。

食だより

さつまいも

栄養管理課 管理栄養士 山口 翔平

秋の味覚を使った簡単スイーツ

10月になって日に日に涼しくなり、本格的に秋の季節となってきましたね。今回は、秋の味覚である『さつまいも』を使って、簡単にできるスイーツを紹介したいと思います。



さつまいもとレモンのマフィン

作り方

- 1 さつまいもは皮をむいて1cmの角切りに、レモンは厚さ3mmの輪切りにする。
- 2 鍋にさつまいもとレモン、砂糖煮る用を入れ、中火で10分ほど煮る。
- 3 煮込んださつまいもの3〜4切れを、型(ここでは紙製のマフィンカップを使用)に入れる。
- 4 ミキサーに、卵黄、ホットケーキミックス、ベーキングパウダー、砂糖、バニラエッセンスを入れ、しっかりと混ぜる。
- 5 ボウルに卵白を入れ、ハンドミキサーで混ぜ、メレンゲを作る。
その中に④、残りのさつまいも、レモンを煮汁ごと入れ、さつまいもを混ぜ合わせる。
- 6 型に⑤を流し入れ、180度のオーブンで約25分加熱する。
※型によって焼き加減が異なるので、焼き目を見ながら加熱時間を調整してください。
- 7 焼き上がり(焼き目を確認して)、完成です。

〈材料〉6個分

さつまいも	75g
レモン	30g
砂糖(煮る用)	5g
卵(Mサイズ1個)	50g
※卵黄と卵白に分ける	
牛乳	50g
ホットケーキミックス	100g
ベーキングパウダー	1g
砂糖	9g
バニラエッセンス	少々

ココがポイントです

- Point 1** ミキサーを使って混ぜるので、手を汚さず簡単に生地を作ることができます!
- Point 2** さつまいもの角切りを入れると、少ない量でもボリュームが出る!
- Point 3** 卵白をメレンゲにすることで、やわらかい仕上がりに!

▼一個あたりの栄養成分

エネルギー	108kcal
たんぱく質	2.6g
脂質	1.7g
炭水化物	16.3g

お薬

ニ知識



薬剤部 薬剤師 笠井 真美

お薬の上手な飲ませ方

お子さんにお薬を飲ませる際に苦労したお父さんやお母さんは多いと思います。泣き叫ぶお子さんに、無理やりお薬を飲ませてはいないでしょうか? 嫌がっているお子さんに、無理やり飲ませようとするのは逆効果です。そこで今回は、お薬の上手な飲ませ方について紹介します。

シロップ薬

小さいお子さんには、シロップ薬がよく処方されます。抵抗なく飲むことができるように甘く味付けされているものが多いのですが、逆にその甘さが飲みにくい場合や、なかには味付けされていない苦いものもあります。

乳児にシロップ薬を与える場合、スプーンやスポイトなどで頬の内側に少しずつシロップ薬を落とし、お口直しに水やぬるま湯を飲ませましょう。咽喉の奥に入れ過ぎると、咳込みやすいので注意してください。幼児の場合は、小さなカップやスプーンで飲ませると良いでしょう。

シロップ薬は服用後、冷蔵庫で保存してください。また、日持ちしないため、残ったシロップ薬は捨ててください。

粉薬・ドライシロップ薬

粉薬やドライシロップ薬は、むせたり苦味があったりするため、嫌がるお子さんがとても多いです。乳児に与える場合は、少量の水でペースト状に練り、頬の内側や顎に塗り付け、すぐに水を与えて流し込むと、上手に飲ませることができます。また、満腹で飲めなかったり、食べ物と一緒に吐いたりすることがあるので、薬効などの関係で特別に医師からの指示がない場合は、授乳前に服用させると良いでしょう。幼児の場合は、少量のジュースやゼリーなどに混ぜると飲ませやすくなります。また、アイスクリームなどの冷たいものに混ぜると、お薬の味を感じにくく、飲み込みやすい状態になります。ただし、混ぜるときは、食べきれない量にするように、注意してください。

お薬と相性が悪いもの

お薬をミルクやご飯には混ぜないようにしましょう。味が変わって飲み残したり、ミルク嫌い、食事嫌いになったりするおそれがあります。また、スポーツドリンクや酸味のあるジュースはお薬と相性があまりよくないものもあります。

お薬によっては、乳製品と一緒に服用すると効果がなくなってしまうものもあるため、処方された際に、混ぜても大丈夫なものを薬剤師に確認しておきましょう。



「がんサポートチーム」からのお知らせ 「安心してお使いください」

薬剤部 薬事衛生課長 松村 友和

vol.31

平成18年に『がん対策基本法』が制定されました。その対策のなかで、がんが診断されたときからの緩和ケアの推進として、『患者さんとその家族が精神的苦痛に対する心のケアを含めた全人的な緩和ケアを受けられるよう、緩和ケアの提供体制をより充実させる。』と記載されています。がん患者さんの抱える苦痛としては、『痛み、倦怠感、眠れないなどの『身体的苦痛』、不安、いらだち、うつ状態などの『精神的苦痛』、経済的な問題、仕事、家庭の問題などの『社会的苦痛』、死への恐怖、自責の念などの『スピリチュアルな苦痛』などさまざまな種類があります。これらの苦痛を全人的苦痛（トータルペイン）として捉えて、緩和ケアが行われています。当院のがんサポートチームは、それらの苦痛を取り除くことを第一に考えています。

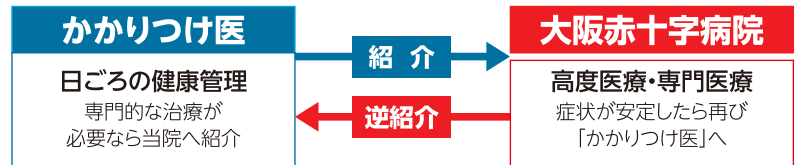


がんの痛みに対してとても有効なお薬です。医療用麻薬は、使う量を増やせばその分鎮痛効果が高くなるので、がんの強い痛みも、それに見合った量を使うことでやわらげることができ、ます。しかし、『麻薬』という言葉から連想される、『中毒』や『依存症』などマイナスイメージがあることから、医療用麻薬を敬遠されたり、痛みをがまんして日常生活を送られている患者さんが全国には多くいらっしゃるそうです。医療用麻薬は痛みがある状態で使用する限り、たとえ量を増やしても、中毒にならないことが分かっています。決められた量を正しく使用すれば、とても安全で有効なお薬です。副作用についてもよく分かっており、さまざまなお薬が開発されているので、充分に軽減できるようになっています。当院でも多くの患者さんがこの医療用麻薬を使われています。使用に際しては適切に、そして安全にお使いいただけるよう充分に説明をさせていただきます。どうか安心してお薬を使用し、治療に役立ててください。

がん相談支援センター 当院では、がん全般に関するさまざまなご相談をお受けしています。TEL:06(6774)5152 FAX:06(6774)5126 syakaika@osaka-med.jrc.or.jp

「かかりつけ医、をもちましょう 登録医紹介

病院と診療所がその機能や役割を分担しながら、患者さんに適切な医療を提供することが求められています。自分のことをよく知っていて、ちょっとした病気やケガの診察や相談ができる「かかりつけ医」をもちましょう。



医療法人竹村医学研究会 小阪産病院

- 理事長／竹村 秀雄
- 診療科／産科・婦人科
- 住 所／東大阪市菱屋西3丁目6-8
- 電 話／06-6722-4771
- 休診日／日曜日・祝日
- 診療時間

外 来	月	火	水	木	金	土	日
午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○	△
午後(14:00~17:00)	○	○	○	○	○	○	△

※土曜日は完全予約制



特長 小阪産病院は、『感動の出産、楽しい育児へのサポート』を目指し、より安全で快適な病院となりますよう、2015年4月に新病院を開院しました。200余名のスタッフは、真心のケアと最善の医療によって、安心と健康を提供し患者さんとそのご家族、さらには地域の方々にも常に満足していただける病院を目指しています。

地域の皆さまへ 当院は姉妹施設である、婦人科と乳腺外科の専門クリニック『小阪レディースクリニック』と、産後のお母さんに癒しの場を提供する『産後ケアセンター小阪』と連携し、『より良い女性のトータルヘルスケアサポート』ができる施設として日々の努力を続けています。また、より高度な医療が必要な方には、大阪赤十字病院をはじめとする高度医療施設との地域医療連携を強化することで、より安全な医療を提供いたします。

医療法人医星会 呂眼科医院

- 院 長／斉藤 秀明
- 診療科／眼科
- 住 所／大阪市生野区巽北3-14-17 コーポ矢柄1F
- 電 話／06-6751-0572
- 休診日／火曜日午後・木曜日午後・土曜日午後・日曜日・祝日
- 診療時間

外 来	月	火	水	木	金	土	日
午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○	△
午後(16:00~19:00)	○	△	△	△	○	○	△



特長 昭和63年開院。学童期に環境的要因により近視が進行しやすいと言われていています。当院では0.01%アトロピン点眼液を処方し、近視進行を遅らせる治療を行っています。また、スギ花粉、ダニに対する舌下免疫療法(舌下減感作療法)の治療を始めました。患者さんにより分かりやすく、納得していただける医院を目指し、職員一丸となって日々努力しています。

地域の皆さまへ アットホームな温かい雰囲気の中で、患者さんが相談や質問を気軽にできる眼科医療を目指しています。地域に溶け込んだ敷居の低い眼科で、できるだけ患者さんのご希望に沿って診察させていただきます。より高度な診断、治療が必要な場合は、大阪赤十字病院などの高度医療に対応できる病院へ迅速に紹介します。インターネットでも受付が可能です。いつでもお気軽にご相談ください。

●中東地域紛争犠牲者支援 ヨルダン・アンマン

ヨルダンには66万人とも言われるシリア難民が暮らしており、これらの大半がキャンプ外に住んでいます。国際赤十字では、これらの難民と、ヨルダンの脆弱な人々に対する保健衛生の普及に取り組んでおり、今年の4月から当院事務職員を1年間の予定で派遣しています。現在の現地の健康問題は、外傷や感染症ではなく、先進国と同じ問題であるがん、糖尿病といった非感染性疾患です。これらに対しては、治療とともに予防活動が非常に重要です。



[国際医療救援部からのお知らせ]

REPORT

大阪赤十字病院の国際活動

2015-2016

国際医療救援部 部長 中出 雅治

途上国で紛争や大災害が発生すると、赤十字は直ちに救援チームを送り、支援活動を行います。発災直後はもちろん、その後の復興期には悪化した衛生環境の立て直しや、住民の衛生、健康に関する教育、啓蒙活動など基本的な部分の支援が長期に渡って必要になります。そのような途上国での、昨年から今年にかけての、当院の活動を紹介します。

●ケニア母子保健事業 ケニア・ナイロビ



ケニアでの安全なお産と妊産婦死亡率、新生児死亡率の減少を目標として行ってきた本事業も、7年になります。今年4月から事業サポートのために当院事務職員を6カ月間の予定で派遣しています。

●ウガンダ北部 医療支援事業 ウガンダ・カロンゴ



内戦収束後のウガンダ北部の病院支援は、2010年4月から6年間に渡って継続的に外科医を派遣し、支援してきました。現地の外科医が誕生し、彼に引き継ぐことで今年3月で終了しました。2014年からは外科医に加えて薬剤師、看護師も派遣、昨年11月から派遣されていた最後の看護師も、今年3月に帰国しました。現地では現在、薬剤を個人別に薬局で仕分けして病棟へ配布するユニットドーズシステムや、看護記録の記述、手術室での滅菌器具のセット化などが定着しています。

●中東地域紛争犠牲者 支援 レバノン・トリポリ



レバノンには多くのシリア難民が流入していますが、インフラが追い付かず、医療も例外ではありません。赤十字国際委員会は、レバノン北部トリポリに既存する2つの病院の、それぞれワンフロアを借り切って、シリア難民の治療を行っています。当院から看護師を3カ月間再派遣し、活動を現地の病棟看護師に引き継ぎました。

●ネパール地震緊急救援 ネパール・メラムチ



2015年4月25日に発災したネパール地震では、発災翌朝に当院医師、看護師を各1名緊急派遣したことを皮切りに、計8名の職員(医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務職2名、臨床工学技士1名)を派遣しました。仮設診療所を設営するとともに巡回診療を行い、併せて3カ月間で1万5千人以上の被災者を治療しました。

●ギリシャ北部 シリア難民キャンプ 医療救援 ギリシャ・テッサロニキ



シリアやイラクから難民としてヨーロッパに流れてきた人々のうち、行先が決まらない多くの人々がギリシャで足止めされているため、ギリシャ国内に多くの難民キャンプができています。国際赤十字では、これらの難民の健康支援のため、仮設診療所を運営しており、今年8月から2カ月の予定で、当院医師を派遣しています。この難民支援には今後引き続き当院薬剤師、事務職員の派遣を予定しています。

●パレスチナ難民支援 パレスチナ自治区・ガザ



パレスチナ・ガザ地区の救急医療システム構築のため、今年5月から2カ月間、当院救急医を派遣し、現地でのシステム作りや、トレーニングの準備などを行いました。

●フィリピン台風復興支援 フィリピン・ボゴ



2013年11月にフィリピンを直撃した台風ハイアンでは、当院からも多くの職員を緊急救援で派遣しました。日本赤十字社ではその後の復興支援事業として、保健教育事業や仮設住宅建設などを継続して行っています。昨年10月から今年3月まで、復興支援事業の運営の一端を担うため、当院の事務職員を6カ月間派遣しました。

●南スーダン内戦犠牲者 救援 南スーダン・ジュバ/マイウット



南スーダンでは、2011年の独立後も国内での武力衝突が絶えず、行き場のない多くの犠牲者が出ています。赤十字国際委員会では、これらの紛争犠牲者救援のための医療支援を行っていますが、当院から医師1名を昨年11月から今年1月にかけて2カ月間派遣、外科診療に従事しました。

Information

親と子の防災体験セミナー「**災育**」

『いざ大阪で大きな地震が起こったら〜病院や防災機関だけではなく、地域の住民の皆さまも一緒に災害に立ち向かうという意識がなければ立ち行かない。』という考えから、院内を開放し、多くの防災機関と協力した体験型の防災セミナー「災育」が8月に開催されました。

災育は、毎年好評をいただいています。7年目の今年は、過去最高の661名の市民が参加されました。来年も8月第1日曜日に開催します。6月中旬頃、当院ホームページで案内予定ですので、ご覧ください。



防災豆知識

先日行われた災育で、参加していただいた方々に行ったアンケート結果では、多くの方が防災グッズを十分に準備していないと回答されています。そこで、100円均一ショップでも簡単に準備できる防災グッズを紹介します。

サララップは紙皿に敷いて食べ物を載せると、皿を洗わず何度も使えます。折り畳みのアイロンシートは、避難所の床に敷くと寒さも防げます。ネックピローも座布団代わりになりますね。トラベル用品は、使い捨てショーツや携帯用のミニトイレ、消臭袋、スリッパ、洗面用具、石鹸や洗剤、洗濯ロープ、圧縮袋などいろいろ使える上に、コンパクトで非常時にも適しています。その他、マスクや使い捨てプラスチック手袋などがあると感染対策にもなります。いざという時のために、しっかり考えて準備しておきたいものです。



Topics Box

トピックス & ニュース

Event

第7回 糖尿病オープン教室について テーマ:「風邪は万病の元、 糖尿病は億万病の元!」

毎年恒例となりました「糖尿病オープン教室」を本年も開催します。

「糖尿病」について考え、学ぶ機会として、有益な情報盛りだくさんの内容をお届けします。ご自由に参加できますので、ぜひお越しください。

- 日時/平成28年11月9日(水) 13:30~15:30
- 会場/大阪赤十字病院
本館1階 正面玄関ロビー
- 参加費/無料
- 受付/受講される方は、直接会場へお越しください。
- 内容/
・講演 ①鯉江 基哉 (こいえ内科医院 院長)
「糖尿病と合併症(仮)」
②山口 翔平 (当院 管理栄養士
日本糖尿病療養指導士)
「目指せ、食事の金メダル!」
・糖尿病療養指導士による血糖測定、血圧測定など
・医師、糖尿病療養指導士による健康生活相談
- お問い合わせ先/医療社会事業課
TEL:06-6774-5192(直通)
2階⑧番窓口(受付時間:平日 8:30~17:00)



▲血糖測定、血圧測定、健康生活相談の様子
(写真は昨年のもので)

川柳募集!

糖尿病に関する川柳を募集しています。糖尿病川柳は、当院の1階・2階・3階・東4階病棟に設置してあるボックスへ、投稿してください。

募集期間 10/3(月)~10/28(金)

Event

秋の空に響く音色 セプテンバーコンサートを開催しました

9月11日(日)、セプテンバーコンサートを開催しました。

今回は音楽家として活動されている方々による演奏をお届けしました。

第一部に大阪赤十字看護専門学校の音楽歌唱指導もされている大谷志穂様と、ピアノ演奏として高橋小牧様に、第二部では古楽器を演奏される「アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ」の皆さまにご出演いただきました。一部では大谷様による圧巻の歌声と綺麗なピアノの音色で「あかとんぼ」などが披露されました。二部では、古楽器の温かくてどこか不思議な音色での演奏が披露され、最後は「ふるさと」を来場された皆さまと一緒に歌いました。

「パフォーマンスも活気があり、入院生活に華ができました」「とても元気をもらいました」といった感想が寄せられ、来場者の皆さまには、普段の日常生活ではなかなか聞くことのできない音楽をお楽しみいただきました。

次回は12月にクリスマスコンサートを予定しております。ぜひお越しくださいませ。



Event

天王寺区民まつりに参加しました

9月11日(日)に開催された第42回天王寺区民まつりで「応急手当体験コーナー」に参加し、地域の方々に心肺蘇生とAEDの使用方を説明し、体験していただきました。

当日はたくさんのお子さんや親御さんが訪れ、熱心に救護員の指導のもと、積極的に体験されていました。暑いなかでも実際に人形を使って、一生懸命に心肺蘇生方法を子どもたちは学んでいました。

今後もこのような地域の活動に参加し、地域に根付いた病院を目指します。



お願い

中待合の椅子について

当院の外来各ブロックの中待合は狭く、患者さんの受付番号が表示されたにもかかわらず、椅子がないなどのご不便・ご迷惑をおかけし、大変申し訳ございません。

中待合の椅子は患者さん優先でご利用いただけますよう、お付添いの方はご配慮・ご協力をお願いいたします。

編集後記

本誌の特集記事でもご紹介しましたが、今年9月より手術支援ロボット「ダヴィンチ」が稼働しました。

私も導入前に実物を見学しました。ブレることなく繊細な動きをスムーズに行うダヴィンチを前にして、医療機器の進歩に驚きました。それと同時に、これまではこんなに細かい動きを人が行っていたのだと思い、医師の凄さにも驚きました。そして、患者さんを治療するために医師や看護師だけでなく、こういった機器を製造する方、販売する方、本当にさまざまな方が関わって一人の患者さんに治療が届けられていることを実感しました。ダヴィンチの導入により、一人でも多くの方に、より安全で安心な治療が提供できることを、当院職員として喜ばしく思います。

今後はダヴィンチの活躍の幅も広がっていきますので、皆さまもぜひご注目ください。(Y.T)

人事異動情報 (平成28年7月1日~10月1日)

- 採用** (7月16日付) ●皮膚科/医師・藤田 真文 (9月27日付) ●神経内科/非常勤嘱託医師・島 淳 (10月1日付) ●小児科/非常勤嘱託医師・田尻 雄二郎 ●放射線治療科/非常勤嘱託医師・岸 高宏
- 退職** (7月31日付) ●神経内科/医師・田端 涼子 (8月31日付) ●消化器外科/副部長・福田 明輝 ●消化器内科/医師・大原 芳章 ●循環器内科/非常勤嘱託医師・福地 浩平 (9月13日付) ●神経内科/非常勤嘱託医師・榎田 宏彰 (9月30日付) ●小児科/専攻医・田尻 雄二郎

病院のご案内

- 受付時間(月~金) (診療開始は午前8:45からです)
初診/月曜日~金曜日 8:30~11:30 再診/月曜日~金曜日 8:00~11:45
- 休日 土・日・祝・5月1日(本社創立記念日)・12月29日~1月3日
- 診察券 診察券は全科共通で使用いたしますので、ご来院時には必ずお持ちください。
- ご面会 (病状によってこの限りではありませんが、必ず病棟の看護師にご相談ください)
平日/14:00~19:00 休日/10:00~12:00、14:00~19:00
小児病棟(平日・休日とも)/14:00~19:00
- 保険証等 保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。
また、変更・更新の際は必ずご提出ください。

当院は
敷地内全面禁煙です
当院は、敷地内全面禁煙を
実施しています。
ご理解とご協力をお願いします。



大阪赤十字病院

大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30 平成28年10月発行

■お問い合わせ

TEL:06-6774-5111 (代表)

大阪赤十字病院 <http://www.osaka-med.jrc.or.jp/>
赤十字全般 <http://www.jrc.or.jp/>

